

小児期発症神経難病における生活支援の現状と課題  
〜ほんとうのことを話したい〜

講演者

熊谷 晋一郎 氏

東京大学先端科学技術研究センター准教授/医師

富田 直 氏

都立小児総合医療センター 在宅診療科 部長  
神経内科、総合診療科兼任/医師

大泉 えり 氏

高度医療ケアラー 在宅おふろ研究家

開催日

2022年 2月11日 (金・建国記念日)

午後1時～午後5時 オンライン開催(Zoomウェビナー)



絵 為水信吉 氏 (当センター利用者様)

主催者メッセージ

かつて吉本隆明は「ぼくが真実を口にすると ほとんど全世界を凍らせるだろう  
といふ妄想」を詩「廃人の歌」(1952)の中に書いた  
ほんとうのことが聞きたい、ほんとうのことを話したい  
でもほんとうのこととは何だろう  
少なくとも教科書や世間智や見かけ上の対立の中にはないだろう  
柔らかい発想と軽いフットワークで自問自答する鷹揚な個性の中にあると信じる  
(島田療育センター 院長 久保田 雅也)

申し込み方法 : 当センターホームページより申し込み  
定員 : 450名 (先着順)  
参加費 : 無料  
問い合わせ先 : 島田療育センター 支援部  
042-374-2101 (受付時間 : 平日午前9時～午後5時45分)





島田療育センター 発達支援センター 第16回心理講演会

# 読み書きにつまずきがある 子どもたちに 家庭や学校で できること ～合理的配慮と支援～

ホームページ

より申込



2022年

2/18〆切

※講師への質問は

1/5〆切

やなだ あきのり

**築田 明教 氏**

かわばた眼科 視覚発達支援センター  
センター長・ビジョンセラピスト

ミネソタ大学を卒業後、アメリカでビジョンケアに関わる心理士として働く。2004年に帰国。

かわばた眼科にて視覚認知外来を立ち上げ、2007年に視覚発達支援センター設立。2013年よりセンター長就任。地域密着型の療育フォローを望み、2015年より社会福祉法人青い鳥小児療育センターの眼科にて視覚認知外来を担当。

現在まで延べ1万人以上の児童の視覚認知検査、療育に携わる。

就学前後の時期になると読み書きについて、本や教科書がすらすら読めない・文字の覚えが悪い・文字の形が崩れるなどの悩み事が、学年があがると、似ている漢字を混同する・アルファベットが覚えられないなどの悩み事が出てくる場合があります。これらの背景には、眼球運動や視覚認知などのものを見る力(視覚機能)が関係していることがあります。子どもたちが本来の力を発揮していけるように、困り感に気づき、一人一人に合った配慮や支援を実践していくことが必要です。本講演では、視覚機能とは何か、保護者や学校関係者、支援者など私たち周囲の大人がそれぞれの立場でできることについてご講演いただきます。

**オンライン  
講座**

**Zoom**

ウェビナー方式  
録画配信

**無料**

**定員 500名**

**2022年2月19日(土)**

**10:00~12:00**

お問い合わせ:島田療育センター支援部 TEL:042-374-2101(平日9:30-12:00, 13:00-17:00)  
主催:社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター リハビリテーション部 臨床心理科